

■ 大阪府内の鉄道駅舎、道路、公園のバリアフリー化の現状に係る課題と今後の対応について

資料-3

テーマ	現行の方針等	課題	今後の対応	担当部局
可動式ホーム柵の設置促進	<p>○国の「ホームドアの整備促進等に関する検討会 中間とりまとめ」(H23年8月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数10万人/日以上以上の駅について、ホームの状況等を踏まえ、ホームドア又は内方線付き点状ブロックの整備を優先して実施。</li> </ul> <p>○大阪府内の可動式ホーム柵の状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府内の利用者数10万人/日以上以上の駅:24駅</li> <li>・大阪府内の既設置駅:40駅(地下鉄今里筋線、長堀鶴見緑地線など)</li> <li>・大阪府内の導入予定:地下鉄千日前線(平成26年度予定)、地下鉄御堂筋線天王寺駅・心斎橋駅(平成26年度予定)</li> </ul>	<p>「中間とりまとめ」において、車両扉位置の統一などの技術的困難さ、停車時分の増大等によるサービスの低下、膨大な投資費用(現状では駅の構造等により設置に数億～十数億円)等の課題が指摘。</p>	<p>国において、コスト低減等の課題に対応可能な可動式ホーム柵の技術開発に対し支援しており、今年度、現地試験を予定。この動向等を注視しながら、事業者には引き続き補助制度の活用などによる整備を促す。</p>	大阪府交通道路室 市町 事業者
道路における移動等円滑化	<p>○分権一括法により道路移動円滑化基準などが条例化。(平成25年4月1日から施行)条例に定められた基準に沿って道路の新設及び改築・更新を実施していく。</p> <p>○「移動円滑化の促進に関する基本方針(H23.3改正)」により、市町村策定のバリアフリー基本構想における重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路を原則全てバリアフリー化していく。</p> <p>○引き続き、障がい者の方々との意見交換や情報共有を継続するとともに、道路構造に反映していく。</p>	—	—	大阪府交通道路室
都市公園における移動等円滑化	<p>第2次一括法の施行に伴う自治体ごとに都市公園移動等円滑化基準の条例化を平成24年度に行った。条例に定められた基準に沿って都市公園の新設及び改築・更新を実施していく方針。</p>	<p>各自治体は社会資本整備総合交付金により都市公園の整備を進めているが、既開設公園の改築・更新に関する交付金メニューが平成25年度で終了の予定。各自治体の改築・更新の進捗が著しく低下する恐れがある。</p>	<p>大阪府として、府内各市町村の意見も代表して、計画的な改築・更新を進め、国の整備目標を達成するため、改築・更新に関する交付金制度の継続または新たな制度の創設を国に強く要望していく。</p>	大阪府 公園課